



調査終了後、林道北薩2号線沿いの展望の良い林業用作業土場に、桜の植栽をする各委員

町有林・林道を調査

総務・経済建設両委員会合同で

平成16年2月19日両委員会を開会し、経済課長、課長補佐、林務担当職員の出席によ

り、町有林の合同調査を実施しました。調査は、北薩2号線沿いの町有林と、林道は北薩2号線の大口市、鶴田町境の3工区、2工区、1工区、一部未改良分470mの全線を行いました。

調査結果

- ① 町有林は、全体的に管理はよくされている。
- ② 今後も、計画的な間伐等を実施されたい。林道管理は、緊急雇用対策等の活用により効果が出ているが、災害等が懸念されるため、維持管理は、今後も十分配慮されたい。
- ③ 一部工事車両による舗装の修繕箇所があるが、開設時までは補修完了された。

町道市場中央線の舗装、補修等に関する陳情書

12月定例会から継続審査となっていた陳情書1件と、今定例会に提出された陳情書3件を審査した結果、3件を採択しました。内容は次のとおりです。



要旨 この路線は、路面が非常に悪く、側溝にも蓋がないことから、トラック等との離合時には大変危険な状態である。このようなことから、舗装のやりかえと蓋版の布設をお願いしたい。

理由 最近の畜産をめぐる情勢は、担い手の減少や高齢化の進行などにより、生産基盤の脆弱化が進んでおり、畜産環境規制などあわせて、畜産基盤の維持・強化が大きな課題となっているため。

畜産政策・価格に関する陳情書

理由 集落内はもとより、ライスセンター及び自慢館への基幹道として多くの利用がある。車両の離合にも支障をきたし、危険な状況にあるため。

2005年度国家予算編成において、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

めている中で、国の政策支援の強化が必要のため。(発議第1号で意見書を農林水産大臣等に提出)

要旨 教職員の給与等を国庫負担制度から適用除外等の制度見直しを行わない。



集落合併

上大迫清盛議員

推進策は

地元の盛り上がりが先決

8集落(自治公民館)から3集落(自治公民館)へ集約された紫尾地区は、本町の集落合併の模範となるものであるが、町として他地区の合併推進についての考え方はどうなのか、また、紫尾地区のコミュニティセンター(集会施設)の建設(立て替え)はいっになるのか伺います。



老朽化が進む紫尾区公民館

説明をし、意識を啓発した次第であります。現在、自治公民館合併促進実施要領(案)を作成しながら、機運が盛り上がった自治公民館に対しては、積極的に関わっていきたく準備を進めているところであります。紫尾区公民館については、老朽化に加え駐車場も狭いことから、建て替えについて紫尾区と協議した経緯もあるが、その時点では紫尾温泉等の整備計画中であったこともあり、地元としての希望の声はありませんでした。今後地元の建設への機運と財源の問題を含めて検討することになると思う。

学校教育

川口憲男議員



三者連携での対策は

継続して実施



高齢者とふれあいながらの竹ぼうき作り(鶴田中学校)

「思いやり豊かな感性を育む心の教育」、「郷土の良さを生かした特色ある学校づくり」を推進し、児童、生徒の「生きる力」をそなえた人間的成長が図られている。三者連携は、これまで多くの施策が講じられてきたが、地域、家庭での教育力が問われている現状にあって、新たな施策を講じられる考えはないか伺いたい。

平成16年度においても、これまでの施策を継続して実施したいと考えています。学校教育においては、総合的な学習の時間などで地域の人材や施設を活用して学習を進めるための施策。社会教育では、教育力を高める家庭教育・成人教育の充実の中で、子育て学習促進事業で親を対象とした講座、中・高校生を対象として、高齢者人材活用等を実施したいと考えています。